



いむら
岩村みゆき 議員

IWAMURA Miyuki

Q. 投票率の向上を

A. 先進事例を参考にする

Q 令和6年10月27日の衆議院議員選挙の豊山町の投票率は49.89%と全国平均よりも3.96ポイント下回り、50%を切っている。愛知県内でも下から数えた方が早いくらい低い。現状の要因をどう分析されているのか。

A 総務部長

先の町長選挙や町議会議員一般選挙においても、投票率が50%を下回るなど減少傾向にあることから、選挙の種類に限らず、有権者の選挙への関心が低いことが推察され、選挙管理委員会事務局としても大変危惧している。

Q 若い世代へ投票を促すための手立てが必要と考える。お考えは。

A 総務部長

特に、若い世代は広報紙や選挙公報を目にする機会が少ない。SNSを積極的に活用するなど、他自治体の先進事例を参考に選挙啓発方法を検討する。

Q 関市では有権者に「選挙パスポート」をお渡ししている。選挙のたびに投票所でスタンプを押すことで、選挙へ行った忘備録として活用している。スタンプを押せる欄が100回分あり、楽しみながら100%を目指すものである。豊山町でも導入してはどうか。

A 総務部長

新たに有権者となる方をターゲットとして、先着順でパスポートを配布するなど、自治体によってさまざまな工夫がされている。今後は、こうした自治体の先進事例を参考に導入に向けた調査研究を行ってまいりたい。

Q 期日前投票についても工夫をしては。

A 総務部長

移動投票所の開設などには「二重投票」を防止するための投票管理システムの導入が必須となる。システム導入にかかる経費の費用対効果を考慮のうえ検討する。

Q. 体育館への空調整備を

A. 必要性は高まっている

Q この夏の猛暑は大変厳しいものであった。児童生徒の熱中症、特に運動時には最大限に注意が必要である。

災害時には避難所となる学校の体育館への空調整備は最優先課題と考えるが、町長はどのようにお考えなのか。

A 町長

現在、小中学校体育館における熱中症対策は、暑さ指数(WBGT)を日々繰り返し測定しながら、体育館の利用時間を変更したり状況に応じてスポットクーラーや大型送風機などを使用している。

しかし、避難所としての役割を踏まえると、今後さらに空調機能を強化する必要性は高まっていると考えている。

Q 予算化についてはどう考えているか。

A 町長

中学校体育館については令和5年度に行った空調設置にかかる実施設計を基に現在、工事の実施に向けて予算化の検討を行っている。

小学校体育館については、町の財政状況も鑑みながら、さらなる空調機能の強化について検討してまいりたい。



体育館にも暑さ対策を